

藤岡市過疎地域持続的発展計画（令和３年度～令和８年度）の達成状況の評価【令和５年度】

（数値の単位：人）

項目		前年度 (令和４年度)	状況 (令和５年度)	比較	達成状況の評価
旧鬼石町区域	人口（年度末日時点）	4,636	4,510	-126	・旧鬼石町区域の人口は4,510人であり、前年度と比較して126人の減である。社会増減は社会減、自然増減は自然減である。社会増減では転入数は減少したものの区域外からの市内転居数が増、転出及び区域外への市内転居数が減であることで減少幅が小さくなっている。これには住環境の整備等が寄与しているものと考えられる。自然増減では出生数が増、死亡数が減であり減少幅が小さくなっている。 ・市全域の人口は62,041人であり、前年度と比較して605人の減である。社会増減は社会増、自然増減は自然減である。社会増減では転入数は増、転出数は減であり、移住・定住支援の強化等が寄与しているものと考えられる。自然増減では出生数の減少には新型コロナウイルス感染拡大の影響が残るものと考えられ、死亡数は全国的な傾向と同様に増加が続いている。 ・旧鬼石町区域の人口減少を緩和し、将来的に人口維持から可能な限り増加への転換を図っていくため、本計画に掲げる取組を継続する必要がある。
	社会増減	-49	-47	2	
	転入（増）	106	89	-17	
	区域外からの市内転居（増）	18	24	6	
	転出（減）	127	122	-5	
	区域外への市内転居（減）	43	34	-9	
	その他	-3	-4		
	自然増減	-101	-79	22	
藤岡市全域	人口（年度末日時点）	62,646	62,041	-605	
	社会増減	-62	97	159	
	転入（増）	2,191	2,312	121	
	転出（減）	2,214	2,179	-35	
	その他	-39	-36		
	自然増減	-583	-702	-119	
	出生（増）	297	254	-43	
	死亡（減）	880	956	76	

* 各値は住民基本台帳による。

* 社会増減は転入者数等から転出者数等を減じその他の異動を加えた値であり、自然増減は出生数から死亡者数を減じた値である。

* 社会増減のその他とは、住民基本台帳の記録漏れ又は誤記等を知った際の職権による記載、消除または修正等による増減の差引である。

* 第５次藤岡市総合計画で設定する本市の平成39年（令和９年）目標人口は、62,000人である。